

そらんぽへ行こう

固 博物館・プラネタリウム (TEL) 355-2700 (FAX) 355-2704

東海地方初開催！ 「かがくいひろしの絵本」の魅力 に迫る展覧会

愛嬌^{あいきょう}たっぷりのだるまさんが、コミカルな音と動きで読む人を楽しませる「だるまさん」シリーズ。累計発行部数1,000万部を超え、たくさんの子どもたちに親しまれている絵本ですが、作者のかがくいひろし(1955~2009年)が、絵本作家としてデビューする前、特別支援学校の教員を28年間にわたって務めていたことはあまり知られていません。

かがくいは、障がいのある子どもたちと接する中で、「相手の反応を引き出すこと」を考え続けました。教員時代の試行錯誤の日々が、子どもたちの笑いを引き出す絵本制作へ



『だるまさんが』2008年 ブロンズ新社

とつながっていきます。

博物館で開催する「かがくいひろしの世界展」では、絵本の原画やアイデアノートに加え、教員時代の貴重な映像記録や生徒と作った教材などの展示から、かがくいの人生を振り返り、生み出した絵本の魅力とそのルーツに迫ります。

本展は4月12日(土)~6月1日(日)の開催です。会場でしか見られない「だるまさん」幻の続編や、絵本のキャラクターが登場するアニメーションもあります。ぜひご来場ください。

文化財さんぽ

固 文化課 (TEL) 354-8238 (FAX) 354-4873

あがた 県地区に多い旅人の目印 ~道標~

市内には多数の道標がありますが、中でも県地区は特に多くの道標が残されています。すでに倒れているものや移動しているものも含めると、その数は20基を超えます。建てられた時期は、各地を行商で行き来した服部泰次郎^{はつとりた}が建立した大正時代をはじめ、明治時代や年代不詳など、さまざまです。

道標には街道名が刻まれる場合もありますが、多くは道路の行き先が刻印されています。県地区の道標に刻まれた行き先を見ると、「赤水^{あこす}」や「くろ田」のほか、「坂部」「智積^{ちしやく}」



道標 (黒田町 黒田橋北側三叉路)

など周辺地区も記されています。写真の道標には「右 江村」「左 北野 服部泰・・・」とあり、建てられた黒田町の隣の地名が刻まれています。

また、「四日市」「たどみち」「くわな道」「こもの」「下うが原」など街道につながる離れた地名も見られます。このようなことから、県地区は各地を結ぶ交通の要衝だったことがうかがえます。

人々が道標を頼りに往来していた昔を想像しながら、県地区の道標を探してみませんか。